

2025年日本国際博覧会 休憩所他 設計業務 事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり優秀提案者を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者（256者）から提案のあった内容について、3名の評価委員による審査を行い、優秀提案者を選定しました。

【評価委員会の開催日】

○一次審査 2022年6月10日（金）～2022年6月24日（金）

○二次審査 2022年7月9日（土）、2022年7月10日（日）

【審査手法】

一次審査（書面審査）により二次審査（ヒアリング審査）への通過者を30者選定し、二次審査において20者の優秀提案者を選定しました。

それぞれ、評価委員会委員による採点（100点満点）を行いました。なお、二次審査には一次審査の評価点を持ち越していません。

2. 審査結果（業務対象施設順）

○優秀提案者及び業務対象施設

①休憩所 1	一級建築士事務所 大西麻貴 + 百田有希/o+h
②休憩所 2	工藤浩平建築設計事務所
③休憩所 3	一級建築士事務所合同会社山田紗子建築設計事務所
④休憩所 4	一級建築士事務所 Schenk Hattori + Niimori Jamison
⑤ギャラリー	一級建築士事務所 teco 株式会社
⑥展示施設	KOMPAS JAPAN 株式会社一級建築士事務所
⑦ポップアップステージ(東)	KIRI ARCHITECTS
⑧ポップアップステージ(西)	株式会社三井嶺建築設計事務所
⑨ポップアップステージ(南)	一級建築士事務所 萬代基介 建築設計事務所
⑩ポップアップステージ(北)	axonometric 株式会社一級建築士事務所
⑪サテライトスタジオ(東)	株式会社ナノメートルアーキテクチャー一級建築士事務所
⑫サテライトスタジオ(西)	佐藤研吾建築設計事務所
⑬トイレ 1	GROUP 一級建築士事務所
⑭トイレ 2	Studio mikke 一級建築士事務所
⑮トイレ 3	小俣裕亮建築設計事務所一級建築士事務所
⑯トイレ 4	株式会社浜田晶則建築設計事務所 AHA 一級建築士事務所
⑰トイレ 5	米澤隆建築設計事務所
⑱トイレ 6	KUMA&ELSA 一級建築士事務所
⑲トイレ 7	HIGASHIYAMA STUDIO + farm + 株式会社 NOD
⑳トイレ 8	斎藤信吾建築設計事務所

(位置図は別紙添付)

3. 評価点 ※二次審査の結果のみ記載

○最高 93.7 点～最低 83.3 点

4. 審査の全体講評（座長・藤本委員）

○今回のコンペでは、256点もの応募があり、どれも素晴らしい力作ばかりであったことをまずは感謝したいと思います。この点数は、万博への若い建築家たちの希望や熱意を反映したものだと言えるでしょう。それはひるがえって、選ばれた20人の建築家と、そして僕たち会場デザインチームの責任としてしっかりと受け止めたいと思います。

案を選定するにあたっては、まず多様なアイデアを実現したいということ、また通常の建築では実現できないかもしれない実験的な試みも、飛距離の大きさや細部や実現性への眼差しの確かさによってしっかりと掬い取りたいという思いがありました。ただしっかりと作られているだけでなく、その案や思考の可能性自体を評価したものもあります。そして何より、大きな前提として、これからの時代の、地球環境全体を見据えた循環への思考、人々の多様な活動に対する深い思索、建築というものの根源的な理解、そしてそれを実現していくための人間力を備えていることが求められました。

僕は、今回選ばれた20人の建築家と並走するように、何度かワークショップを開催し、それぞれの建築家が孤立するのではなく、しっかりと横の連携をとり、さらに建築家同士の活発な議論を行いながら、設計プロセスを進めていきたいと考えています。そのプロセス自体も、とてもエキサイティングなものとなるでしょう。そうやって生まれてくるであろう素晴らしい建築たちに大いに期待したいと思います。

5. 評価委員会委員（50音順、敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
平田 晃久	建築家、京都大学教授	日本を代表する建築家としてのこれまでの豊富な経験を活かし、審査を行っていただくため。
藤本 壮介	2025年日本国際博覧会 会場デザインプロデューサー	2025年日本国際博覧会会場デザインプロデューサーとしての視点から、万博会場のコンセプトや基本構想などを踏まえた上での審査を行っていただくため。
吉村 靖孝	建築家、早稲田大学教授	日本を代表する建築家としてのこれまでの豊富な経験を活かし、審査を行っていただくため。

以上